

JCHO玉造病院広報誌 Tamatsukuri Now

たまつくり Now

67

2023 | 春夏号

最新医療レポート

肩関節の手術について

TOPICS 01

マイナタッチとCSセットのご紹介

TOPICS 02

FPD導入とポータブル装置が更新



ロードバイクで通勤する当院医師



Japan Community Health care Organization JCHO / ジェイコー
独立行政法人 地域医療機能推進機構

玉造病院

肩関節の手術について



整形外科 部長 中村 健次

まずは、私自身の肩のお話から始めましょう。今から30年程前の高校2年の冬、スキーで転倒し左肩関節を脱臼しました。スキー場近くの診療所を受診し、脱臼整復の処置を受けました。三角巾で腕を吊って自宅へ帰り、後日近くの整形外科を受診し、4週間装具を装着し大人しくするように言われたように思います。しかし、高校生の私は2週間後にスキーに行き、再脱臼することになりました。若気の至りではありますが、その後も脱臼を繰り返し、大学へ入学してすぐに肩関節手術を受けることになりました。当時の肩関節手術は大きく切って行っていたので、今でも左肩にその傷が残っています。それから時代は進み、私も手術を受ける側から行う側へ移り、肩関節の多くの手術が関節鏡で可能になってきました。本誌でも2013年冬号に肩関節鏡下腱板修復手術を紹介しています。さらにこの10年の間にも医療技術は進歩し、また医療を取り巻く環境も変化しています。

当院では2021年に、関節鏡手術に必要な器具を最新のものに更新しました。4Kカメラ、4Kモニタ（しかも大きい）でよく見るようになり、化学反応で組織を分解する最新の焼灼デバイスも導入し、スムーズに手術が進められるようになりました。（写真①）損傷部位の縫合に使用するスーチャーアンカーも吸収性素

材のものが選択できるようになっています。（写真②）もちろん、コロナ禍でオンラインでの研修も多くなりましたが手術手技向上のための技術習得も継続して行っています。

そしてMRIの分解能の向上に伴い、これまでは見分けられなかった数mmの微細な構造が描出でき、関節唇や関節包靭帯のわずかな損傷や腱板の部分断裂なども診断することが可能になりました。また、MRI装置が低価格となり（それでも高いのですが）開業医の先生も導入され、多くの患者様がMRI撮影により診断され紹介していただいています。MRIによる腱板損傷の診断能力の向上は罹病率（病気にかかっている人の割合）を変化させました。30年前は造影剤を肩関節に注射しCT検査を併用しても部分断裂の診断は困難でしたが、MRIで腱板断裂と診断される60歳代は30%程度まで増加しています。さらに、最新のMRIを用いると、60歳代で部分断裂まで含めると50%以上に損傷を認めるとも言われています。当院では本年度中に最新のMRI装置への変更を予定しており、より正確な診断を目指しています。

肩関節は繊細な組織が複合的に機能することで複雑な運動を可能にしています。外傷による組織損傷だけでなく、加齢による組織変性（しなやかさが失われる

こと）による損傷なども合わさって肩関節機能障害が発生します。MRIで見つかった関節内の組織損傷は自然に修復されることはなく、保存的加療を行う場合は、損傷していない組織を利用して生活することになります。日常生活を送るのに支障があれば肩関節鏡手術や人工関節置換術などの手術加療を検討します。肩関節鏡手術では術後2か月間の入院、術後3～4か月間のリハビリテーション通院などを経て、元の生活に戻るには6か月程度が必要になります。肩に負担のか

かる生活に戻ってしまうと再損傷の危険も高まるため、術後は負担を減らして丁寧に使うように指導をしています。

近年、少子化が進み若年の肩関節脱臼などのスポーツ外傷の数は少なくなっています。その反面、団塊の世代の人口が多く、加齢による組織変性が原因の肩腱板損傷の数は増えていくと思われます。寿命が長くなりスポーツや園芸などアクティブに余暇を楽しみたい人や、年金支給開始年齢が上がり定年後も再雇用で仕事をしたい人など、ゆったり隠居生活とはいかない人が多いようです。当院で行っている肩関節手術が、充実した生活の一助になれば幸いです。

最後に、晴れた日は自転車で通勤しており、なぜか本誌の表紙を飾ることになりました。2020年冬号でも寄稿したのですが、今でも子供たち（もう高校生!?)と一緒にロードバイクに乗っています。インターハイや国体に出場する高校生の成長と比べると、体力の維持で精一杯になっている自分を認識し、無理のない程度で楽しんでいけたらと思っています。



①関節鏡システム



②吸収性のスーチャーアンカー

マイナタッチとCSセットのご紹介

医事課長補佐 作田 耕一



マイナタッチ

今年の4月から、医療機関ではマイナ保険証による保険確認が義務化されました。当院でも、この4月から⑥計算受付窓口に取り取り機を設置しています。ここでは読み取り機の使い方と、マイナ保険証のメリットについて紹介します。

マイナンバーカードをマイナ保険証として利用するには、顔認証か暗証番号が必要です。顔認証はカメラで撮影した画像とカードの顔写真とを照合し、マスクや眼鏡があっても認証できるスグレモノです。しかしながら時には何回やっても認証できないこともあるので、4ケタの暗証番号をお勧めしています。

マイナ保険証のメリットについてですが、令和5年4月から再診時にマイナ保険証で保険確認をすると2点安くなるよう、診療報酬が改正されました。1点=10円ですから3割負担で6円、1割負担で2円安くなる計算になります。実際の支払い額は10円未満四捨五入されるため変わらないこともあるのですが、どちらでもいいよという方はマイナ保険証、使ってみてはいかがでしょうか。

他にもマイナ保険証により服薬歴などの参照が可能になります。当院ではまだ従来通りお薬手帳を利用しているのが現状ですが、将来的には救急の患者さんがお薬手帳を持ってなくてもマイナ保険証で服薬歴を確認、なんてことができるといいなと考えています。



アルメックス社 マイナタッチのオンライン資格確認機能のHPより拝借
<https://www.almex.jp/mc/products/examination/mynatouch-online-confirmation.html>

CSセット

次に、これも4月から新しくなった病衣やタオルのレンタル、“CSセット”について紹介します。この4月から新たに外部の業者さんと提携して病衣・タオル・ティッシュなどの日用品をセットにした“CSセット”の提供を始めました。病衣やタオルに加え、箱ティッシュや歯ブラシなどの日用品も必要に応じてお使いいただける便利なセットです。松江市内の他の病院さんはすでに導入されているのでご存じの方もいらっしゃるかと思います。日額定額制で1日あたり572円（税込み）となっており、準備する荷物が減る、毎日清潔なタオルが使える、などの利点があります。おむつを使用されている患者さん用に紙おむつプランもございます。できるだけ荷物を減らしたい、洗濯物を減らしたい方にオススメです。詳しくは入院受付窓口でご案内しておりますので、お気軽にお尋ね下さい。



ケア・サポート CSセットのご案内

玉造病院では、院内の感染対策とより手厚い看護を行うためにCSセットを導入しています

CSセットとは？

入院の際に必要な衣類・タオル類・日用品・紙おむつ類を日額定額制のレンタルでご利用いただけるサービスです

ご利用のメリット

- 入院準備や補充のお手間が軽減されます
- 衣類・タオル類は全てお洗濯付きです
- 高性能な紙おむつをご使用いただけます

※本資料に掲載されているイラストは全てイメージであり、実際の商品とは異なる場合がございます

FPD導入とポータブル装置が更新

診療放射線技師長 荻野 昌幸



FPDとはFlat Panel Detector（フラットパネルディテクタ）の略で体を透過したX線線をこのFPDで受け取り、デジタル信号に変換することによって画像を得る装置です。

左図のように一見今までのカセット（画像を読み取るパネル）と同じような四角い板のようですが、アナログからデジタル信号となりLAN回線を利用し瞬時に画像を表示することができるようになりました。

特徴として、被ばくの低減、撮影時間の短縮、身体的負担の軽減、高精細な画像による画質の向上が挙げられます。

被ばくの低減

FPDは従来の装置と比べX線の感度が高いため、より少ないX線量での検査が可能となります。40%程度の被ばくを低減することができます

撮影時間の短縮

以前は撮影した後、専用装置にてデータを読み取り画像化するため30秒程度かかっていました。FPDにおいては、数秒で画像が表示され検査効率の向上につながります

身体的負担の軽減

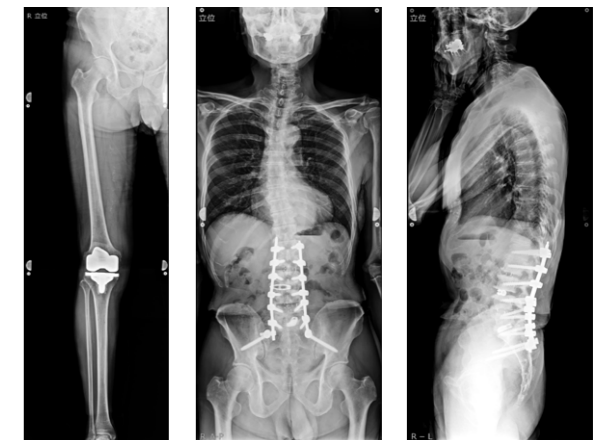
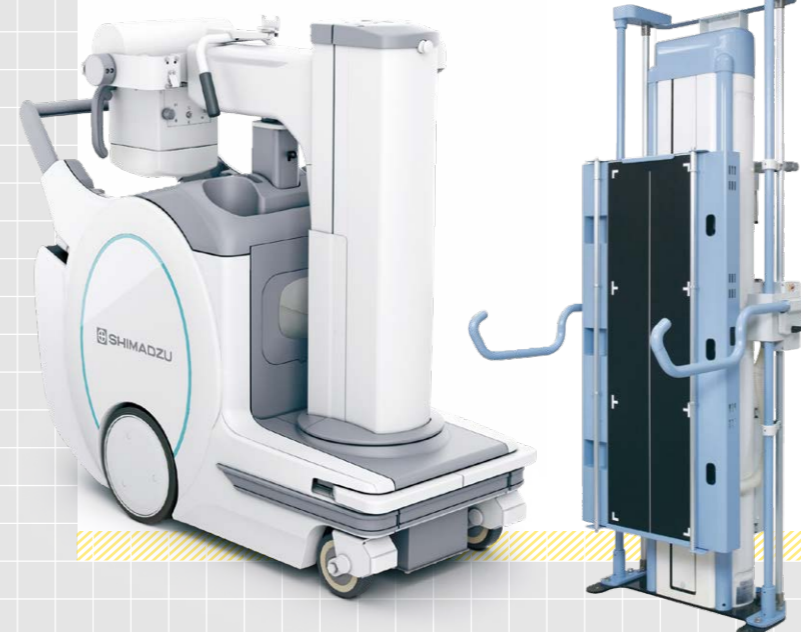
従来では1回撮影するごとにカセット（画像を読み取るパネル）を入れ替えていました。FPDではその必要がなく、連続して撮影が行えるため疼痛を伴う患者さんなどへの体位変換の負担が軽減されます

画質の向上

最新の画像処理により高画質でノイズの少ない鮮明な画像を得ることができます

これらの特徴から一般撮影や手術室におけるポータブル撮影が飛躍的に改善され、患者さんへの最適な撮影条件による安心安全な医療に貢献できるようになりました。

ポータブル装置
写真提供・島津製作所



下肢長尺

全脊椎

長尺撮影台
写真提供・コニカミノルタ

NEW FACE 新職員紹介



今年度より玉造病院の職員として仲間入りしたメンバーを紹介します。

PROFILE



事務部長
宮川 広行

4月に大阪府枚方市にある星ヶ丘医療センターより転任いたしました。1年ぶりの玉造病院での勤務となりますが、これまでの経験を活かしつつ、職員そして地域の皆様とのつながりを大切にしながら病院運営に貢献していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

PROFILE



リハビリテーション科
診療部長
勝部 浩介

4月よりリハビリテーション科診療部長として勤務いたしました。長年、骨折などの外傷を中心に急性期病院で整形外科医として働いておりましたが、今後は回復期も含めてリハビリテーションへの意識を高め、患者さんの社会復帰に寄与できるよう努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

PROFILE



リハビリテーション科
医師
豊嶋 浩之

リハ科に入った豊嶋です。今までは救急、ICU、緊急麻酔をやってきました。休み無く働いた代償で、体調が悪くなってしまいましたが、退職して昨年一年間北海道で働いて、少し体力回復しました。今度松江に帰ってきて、新しくリハをやらしてもらうことになりました。まだまだ初の経験で、戸惑うことだらけですが、少しずつ覚えていきたいと思っています。宜しくお願いします。

PROFILE



作業療法士
福岡 千華

4月から玉造病院の作業療法士として働かせていただいています。福岡千華です。まだまだ知識や技術は未熟ですが、先輩方からのご指導をいただき、患者様の社会復帰に貢献できるような作業療法士になりたいと思っています。

PROFILE



作業療法士
森山 雄太郎

4月から玉造病院の作業療法士として働かせていただきます森山です。まだまだ未熟ですが先輩方からのご指導いただきながら毎日精一杯頑張っています。1日も早く業務を覚え、技術を磨きたくさんの患者様を笑顔に出来る作業療法士になりたいと考えています。よろしくお願いいたします。

PROFILE



歯科衛生士
樋野 唯加

4月から新しく入りました。歯科口腔外科の樋野唯加と申します。まだまだ慣れない点ばかりですが、常に自分のできることを考えて臨機応変に対応できるよう広い視野で業務に励んでいきます。そして先輩方の技術、能力を見習い意欲と向上心を持って日々進みます。よろしくお願いいたします。

PROFILE



内科医師
岩崎 洋一郎

7月から内科・循環器内科で勤務させて頂いております。今までは三次救急病院で働いておりましたが、今後はその経験を生かして内科疾患の治療やリハビリに加え、患者様が整形外科の手術を安心して受けられるように術前、術後の診療にも貢献したいと考えています。よろしくお願いいたします。

PROFILE



内科医師
角 昇平

この度、7月から内科に勤務となりました。今までは消化器内科を専門に、内視鏡検査・治療などを行ってまいりました。専門を離れて、内科一般に携わることとなりますので、慣れないことばかりですが、徐々に慣れていき、玉造病院に貢献できればと思っております。よろしくお願いいたします。

PROFILE



医事課長
橋本 一磨

徳山中央病院から異動してきました。医事課は10年ぶりで、いろいろとご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんが、玉造病院の発展に貢献できるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。玉造は温泉が有名なので、いろいろな温泉を楽しみたいと思っています。

PROFILE



薬剤師
宮崎 凌河

4月付けで薬剤部へ配属となりました。大学で学んだことや、先輩方から教わったことを最大限に活かして少しでも皆様のお役に立てよう頑張りたいと思います。また、初めて島根に来たので色々なことを教えていただくと嬉しいです。よろしくお願いいたします。

PROFILE



看護師(東2階病棟)
安達 千恵

4月から東2階病棟に配属となりました。まだまだ慣れではありませんが、スタッフの皆さんの温かいサポートの中で、少しずつ業務を任せてもらっています。一日でも早く仕事に慣れ、患者さんの安心感につながるケアが提供できるよう努力していきます。どうぞ宜しくお願いします。

PROFILE



看護師(東2階病棟)
川本 空我

4月から東2階病棟に配属となりました。まだまだ慣れないことばかりですが、先輩方のご指導のもと学びを深め、患者・家族の方から、信頼していただけるような看護師を目指し、努力していきます。よろしくお願いいたします。

PROFILE



契約係長
岡田 拓也

香川県三つりん病院より参りました岡田拓也と申します。慣れない土地、初めての役職ということで、不安を数えるときがありませんが同時に新しい環境で様々な方と関わることを楽しみにしております。精いっぱい働かせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

PROFILE



副臨床検査技師長
芝 直哉

4月から京都鞍馬口医療センターより異動となりました。慣れないことばかりで戸惑うことも多々ありますが、1日も早く慣れ、臨床検査室の一員として貢献できるよう日々成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

PROFILE



臨床検査技師
植村 友哉

4月から臨床検査室に配属となりました。部署内の様々な仕事を覚えるにあたって、まだまだ未熟者ではございますが、少しずつ力になれるよう精進していきます。検査技師として検体の取り扱いを丁寧に、そして患者さんには親切に対応できるよう頑張る所存です。よろしくお願いいたします。

PROFILE



看護師(西2階病棟)
小笠 愛斗

4月から西2階病棟に配属となりました。新人研修や日々の先輩看護師の実践の見学を通して知識・看護技術など多くのことを学んでいます。今後は少しずつ知識・技術を身に付け自信を持って安全に看護を提供し、患者さんから信頼される看護師になりたいです。よろしくお願いいたします。

PROFILE



看護師(西2階病棟)
金 未唯

4月から西2階病棟に配属されました金未唯です。今までの看護師経験を活かし、一日でも早く皆様のお役に立てよう頑張っていきたいと思っています。ご指導よろしくお願いいたします。

PROFILE



看護師(西3階病棟)
深江 瑞稀

4月から西3階病棟に配属になりました。まだ慣れないことが多く戸惑うときもありますが、先輩方の指導の下、日々多くのことを学んでいます。患者さん一人一人に寄り添い、安心・安全な看護が提供できるように頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

PROFILE



主任理学療法士
岩根 浩二

4月1日付で、京都鞍馬口医療センターから赴任しました。理学療法士臨床26年目です。京都では、スポーツ整形を中心に臨床に携わってきました。今までの経験を活かしつつリハビリテーション室に貢献できるように頑張ります。異動に伴って不安な部分もありますが、玉造病院で「新たな学び」ができることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

PROFILE



主任理学療法士
中嶋 菜々華

この度、4月1日付で星ヶ丘医療センターから赴任いたしました。今まで培った経験を活かし、少しでも貢献できるように日々研鑽に励みたいと思います。至らない点も多々あるかと存じますが、精一杯頑張る所存ですので、何卒よろしくお願いいたします。

PROFILE



作業療法士
坂上 太一郎

今年4月から作業療法士として勤務させていただいております。患者様の思いに寄り添った関わりを心がけて努めていきたいです。また臨床場面での関わりを先輩方の姿を見習い、学んでいきたいと思っています。大阪出身で慣れないことばかりですが、島根の良いところも教えてください。よろしくお願いいたします。

PROFILE



総務企画課
小原 功己

この度4月より入職いたしました。総務企画課の小原と申します。初めてのことで慣れないことが多いですが、優しい先輩方たちの丁寧な指導のもと日々様々なことを学ばせて頂いています。一日でも早く皆様のお役に立てるように頑張りたいと考えています。よろしくお願いいたします。

PROFILE



総務企画課
田邊 爽佳

4月から事務総合職として総務企画課に所属しております。日々、先輩方からの丁寧なご指導、そして先輩方の業務に取り組む姿勢から多くのことを学んでいる最中です。職員の方々が働きやすく、患者様および皆様のご家族から信頼される病院経営に貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

PROFILE



医事課
梅本 萌衣

この度4月より玉造病院医事課に配属されました、梅本萌衣です。初めての一人暮らしや仕事でまだ慣れないことが多く、ご迷惑をお掛けしていますが、一日でも早く貢献できるように邁進したいと考えております。ご指導のほどよろしくお願いいたします。



臨床検査技師

臨床検査室

玉造病院新ユニフォーム

2023年4月より一部職種を除き
ユニフォームをリニューアルしました。



放射線技師

放射線室



理学療法士 作業療法士 言語聴覚士 リハビリ助手

リハビリ室



看護助手 夜勤帯看護師 クラーク 看護部長 副部長 看護部長 日勤帯看護師

看護部



歯科衛生士

歯科口腔外科

理念

私たちは心温まる医療を実践します。

基本方針

1. 患者さんの立場に立った安心・安全な医療を行います。
2. 医療人として責任を自覚し、高度で良質な医療を行います。
3. 整形外科とリハビリテーションの基幹病院として、患者さんの身体機能の回復・維持、生活の質の改善を支援します。
4. 地域の医療・介護・福祉機関と連携し、地域に根ざした医療の充実に努めます。
5. 人材育成を進め、働きがいのある病院づくりに努めます。

《編集後記》

松江市に単身赴任で来て早や3年、古事記に興味を持つようになりました。

有名なヤマノオロチ伝説、スサノオはクシナダヒメを爪形の櫛に変えて髪にさし、ヤマノオロチを退治します。そしてヤマノオロチの尾から出てきた草薙剣をアマテラスに献上、それが古代天皇の三種の神器の一つとなりました。ゆかりの地を早速ネットで検索「斐伊神社の西方、かつてスサノオがヤマノオロチ退治の後、頭を埋めた場所に杉の木を植えた」とされる」しかも車30分で行ける場所とは!

あわてて雨の中、雲南市の八本杉へ。
夜はもちろん同名の日本酒を美味しく頂きました。



〒699-0293 島根県松江市玉湯町湯町1-2
TEL.0852-62-1560

ホームページからたまつくりNOWがダウンロードできます。
<https://tamatsukuri.jcho.go.jp>

編集・発行責任者 院長/池田 登 ■広報/川合 準

患者様の権利

あなたは、人種・国籍・性別・年齢・宗教、その他の個人的な背景に拘らず、差別なしに適切な医療を受ける権利を持ちます。
あなたは、担当の医師や病院を自由に選択できる権利を持ち、またどの治療段階においても、他の医師の意見を求める権利を持ちます。
あなたは、すべての医療上の記録を知る権利を持ちます。また、医師から症状について十分な説明を受ける権利を持ち、自分自身に関わる治療方針を自由に決定できる権利を持ちます。
あなたのプライバシーと個人情報完全に保護いたします。